

マーケットの動き（2022年3月14日～3月18日）

先週の為替市場は、米ドルは対円で上昇（円安）しました。ウクライナ情勢の不透明感や原油高、米国金利の上昇などによりドル高の展開となりました。日銀の金融政策決定会合後の会見で、黒田総裁が現行の緩和的な金融政策を継続する姿勢を示したことも円売りを促しました。ユーロは、対円・対米ドルともに上昇しました。

投資環境見通し（2022年3月）

円に対して、米ドル、ユーロともに緩やかに上昇

米ドル：米国では個人消費の堅調さが確認され、景気の緩やかな拡大基調が続く中、FRB（米国連邦準備制度理事会）は景気に配慮しながら金融政策正常化を進めるとみえています。米ドルは円に対して緩やかに上昇するとみえています。金融政策正常化のペースに対する先行き不透明感や、ウクライナ情勢を巡る警戒感などもあり、当面は方向感に欠ける展開を予想しています。

ユーロ：ドイツではZEW（欧州経済研究センター）景気期待指数が大きく改善したことに加え、行動制限の段階的な緩和から個人消費の回復も予想されることから、景気は緩やかに持ち直すとみえています。ユーロは円に対して緩やかに上昇するとみえています。地理的に近く域内経済に対する影響が懸念されるウクライナ情勢の動向を注視しつつ、当面は方向感に欠ける展開を予想しています。

	3月18日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	119.18	2.18	4.03	9.66	10.20
ユーロ/円	131.67	3.37	1.08	3.26	1.72

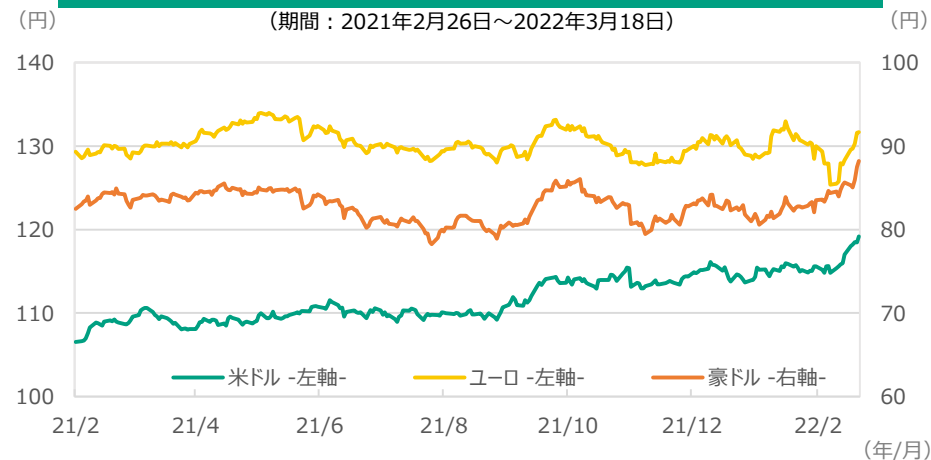
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

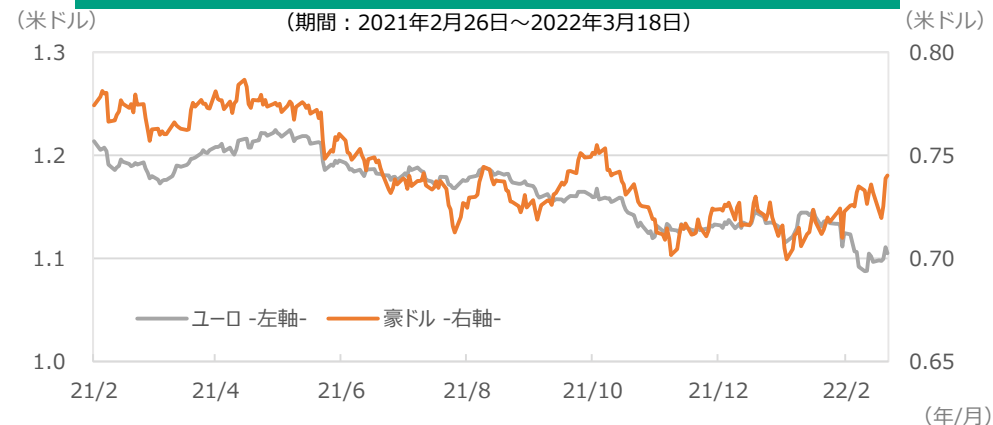
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202203_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成